

会議議事録（要旨）

1 会議名	第1回 長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	平成23年6月28日（火曜日）午後2時00分から午後3時30分
3 開催場所	長岡市立劇場 大会議室（3階）
4 出席者名	<p>【協議会】 本多会長、西田委員、藤井委員、小林委員、鈴木久夫委員、長谷川委員、本間委員（代理：佐藤様）、大橋委員、土田委員、松本委員、鈴木延明委員（代理：昆様）、木村委員、鈴木義朗委員、小林委員、中野委員（代理：細山様） 与板タクシー(有)五十嵐様</p> <p>【事務局】 安達交通政策課長、外4名</p>
5 欠席者名	松川委員
6 議題	(1) 平成22年度 事業報告・歳入歳出決算報告 (2) 平成23年度 協議会の取組み ①和島地域への乗継便運行 ②寺泊地域への路線バス増便（夜間） ③地域内路線の運行（小国地域） ④南循環線の見直し検討
7 審議結果の概要	・ 議題(1)～(3)は、事務局説明のとおり承認された。
8 審議の内容（要旨）	<p>【議事】</p> <p>事務局 議事（1）平成22年度事業報告・歳入歳出決算報告について 資料1「平成22年度事業報告・歳入歳出決算報告」について説明</p> <p>監査員 平成22年度の会計監査結果を報告 （議事(1)について事務局からの報告内容で承認を得る）</p> <p>事務局 議事（2）平成23年度 長岡市地域公共交通協議会の取組みについて 資料2「平成23年度 長岡市地域公共交通協議会の取組み」について説明</p>

会長	<p>四つの提案がありましたので、一つずつ承認をいただけるか確認していきます。和島地域への乗合タクシーの運行について、今年10月から単独事業として実施する運行内容の説明がありましたがいかがでしょうか。</p> <p>(議事(2) ①について事務局からの提案内容で承認を得る)</p>
会長	<p>次に寺泊地域への路線バスの夜間増便について、10月から国の補助対象路線として増便運行するという提案ですがいかがでしょうか。</p> <p>(議事(2) ②について事務局からの提案内容で承認を得る)</p>
会長	<p>次に小国地域の地域内路線の運行について、コミュニティバス有償化の取り組みの状況が報告されましたが、これについてご意見ありましたらお願いします。</p>
会長	<p>6月20日に1回目の協議会が開かれ、具体案の詰め段階に入っていると説明がありましたが、正式に固まるとこの協議会に説明があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今後利用者登録や自家用有償運送の手続を踏む上で利用者の登録手続きを行います。そうして年内に道路運送法の手続きに入りたいと考えており、その前に地域分科会で取りまとめ、本協議会にご説明することになります。</p>
会長	<p>この協議会の下部組織である小国地域分科会で充分検討がなされて、説明があるということですので、そのまま受け止めたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>小国の有償化ですが、地域の方々からは有償化についてどんな意見がでているかお聞きしたい。また、自家用有償運送には福祉有償運送と過疎地有償運送の2種類ありますがどちらになりますか。事業主体はどんなふうを考えていますか。</p>
事務局	<p>運賃について、通常の路線バスと同じように距離制にするか、あるいはゾーン制にするかなど比較検討を行ないました。実際運賃を徴収するとなると越後交通さんのように収受する機器があるわけでもないの、収受作業が大変であるということから、判りやすく支払いもしやすい定額の200円でとりあえずやってみようということになり、これから地域の方々へ説明に入ることになりました。有償化についてはある程度地域の方々からご理解をいただいております、金額についてもご理解いただけるのではないかと考えています。</p> <p>小国地域の運行は、過疎地有償運送になります。白ナンバーの自家用マイクロバスを使い運賃を徴収するというものです。</p> <p>事業主体は、NPO法人のMTNサポートが小国地域全体の生活交通を運営をしていただくというものです。大貝線についてはMTNサポートが過疎地有償運送で運行し、法末、八王子線は乗合タクシーによる運行になります。</p>

会長	分科会で検討した内容は地域委員会でも検討されるのでしょうか。
事務局	合併各地域には地域委員会という自治組織がありますが、その中でも大きな問題ですので分科会で決まった内容を報告し、承認されるような仕組みになっています。
委員	今月の初めにヒアリングをさせていただきましたが、今回の確保維持事業は交付金の補助に関しまして資格要件が若干厳しくなりました。小国地域と和島地域が確保維持事業に該当しなかったということで、今後、山古志地域など各地域で既存の交通網の見直し等が行なわれると思いますが、その際にご相談いただきその段階で補助金が出る形を一緒に考えていきたいと思っております。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では最後の項目南循環線の見直しですが、今回その判断をするための基礎資料の調査というところに踏み込んでいきたいということでしたが、ご意見等ありましたらお願いします。</p>
委員	利用者が少ないということですが、収支率はどのくらいになっているのでしょうか。また、どのような改善が考えられるのかよくわからないので説明してください。
事務局	<p>収支率に関しては手元に資料がありませんので後ほどお答え致します。</p> <p>見直しの方向性についてですが、運行開始当時は中央病院が福住にあり、南部体育館や中央図書館、市民体育館、中央病院、市役所などの公共施設を結ぶ路線として運行を開始しました。運行開始当初から赤字ではありましたが、中央病院が川崎に移転してから実績がさらに悪化しました。</p> <p>そのため、平成21年度に運行経路を中央病院まで延伸をしたところですが、一周の所要時間が60分から70分に加え、これに伴い1日の運行便数が減りました。距離も長くなったことから乗る人も方向を見定めるようになりました。資料22ページにあるように駅東口と中央病院を結ぶ区間が利用者数の最も多い区間となっています。また、宮内方面と長岡駅間、長岡駅東口と宮内方面でそれぞれの利用が完結しています。利用者数全体としては増えていますが、個々のバス停の利用者数は減っています。</p> <p>そのため、現在の南循環線を以前の南循環区間と東循環に分割するというのも一つの考え方かと思われまじ、分割した南側部分を以前の様な形でいいのかなど、その辺も今後検討していく必要があるかと思われまじ。いずれにしても検討するための材料をえるため、今年アンケート調査を実施したいと考えています。</p>
会長	事務局からの説明でしたが越後交通さんから何かコメントがあればお願いします。

委員	<p>今ほどお話がありましたとおり路線がかなり長いので、宮内から中央病院、中央病院方面から市役所という場合利用者の方が遠回りのイメージがありうまく機能していないと思われます。そういったことで二分化するなどいろいろ考えていますが、これだけ長い距離ですと長岡駅まで行って直線的に行きたい所へ行ったほうがお金がかかってもその方がいいというようなお客様の声もあります。</p>
事務局	<p>補足させていただきますが、中央病院まで延伸したことによって大手口から中央病院まで乗り換え無しで直接行くことができるようになったというメリットもあります。現在ペDESTリアンデッキを整備しエスカレーターも出来、駅周辺の状況も変わってきますので、何回か調査をしながら検討していく必要があると考えています。</p>
会長	<p>アンケートの対象者は、利用している人利用していない人両方ですか。</p>
事務局	<p>アンケート調査票は、バス停でバス利用者に配布するほか、無作為に抽出した沿線住民の方へ郵送しますので、利用していない方からもお答えいただくこととなります。</p>
会長	<p>この件に関しましては見直しを検討していくための基礎資料を得るというアンケートについて、事務局から説明のあった内容・方向性でやらせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p>
事務局	<p>本日ご審議いただいた結果を踏まえ、和島地域の連絡便や寺泊地域の夜間増便について、交通事業者の皆様からは運行に向けた手続をお願い致します。市としましても地域住民のPRに努めていきたいと考えています。</p> <p>次回の協議会につきましては、小国地域の運行計画などについてご審議いただきたいと考えており、11月頃を予定しております。日時が決まりましたら改めてご案内致します。</p> <p>以上をもちまして第1回協議会を終了します。</p>